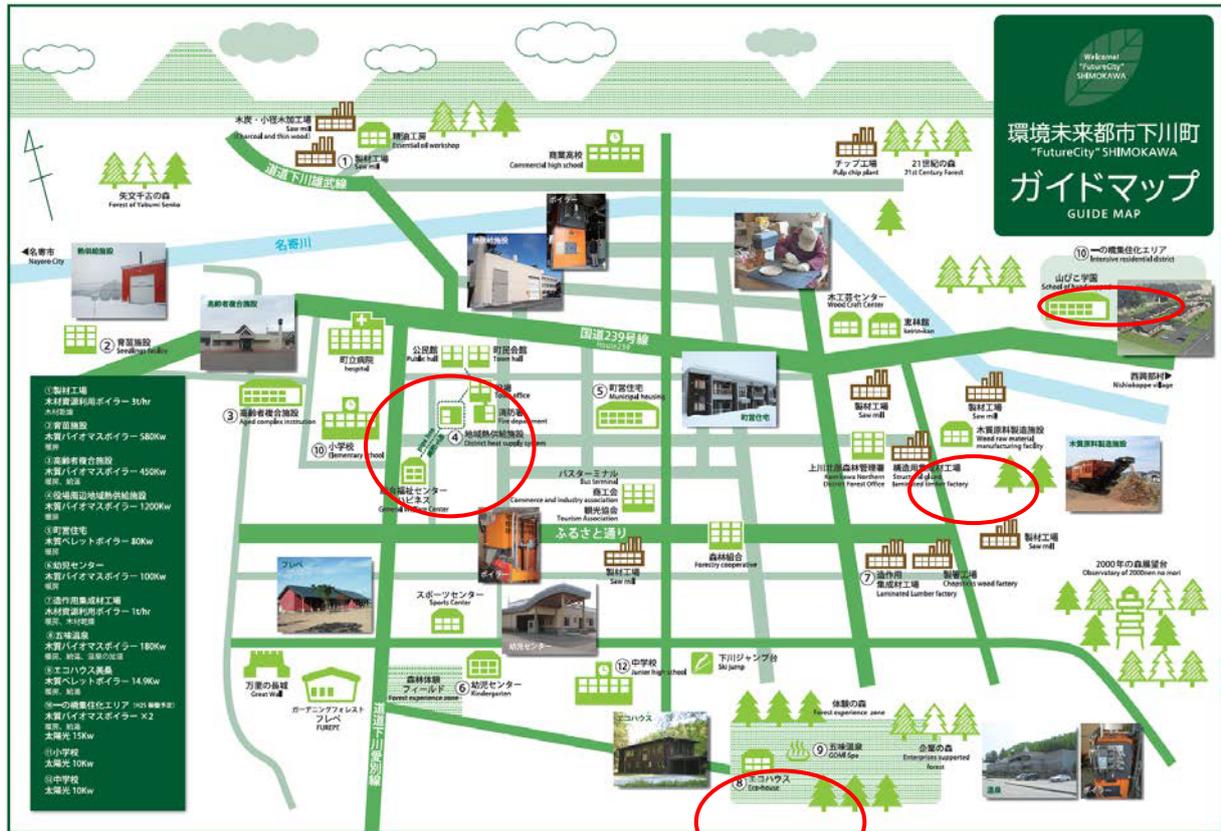


次世代エネルギーパーク計画書

1. 計画名称	下川町次世代エネルギーパーク計画
2. 所在地	北海道上川郡下川町
3. 計画策定主体	下川町 担当部署: 環境未来都市推進課 連絡先: 電話 01655-4-2511、FAX 01655-4-2517 e-mail kankyo-m@town.shimokawa.hokkaido.jp
4. 実施運営主体	下川町
5. 計画概要	<p>(1) 計画のコンセプト</p> <p>下川町は北海道の北部に位置し、644.2k m²（東京 23 区相当の面積）のうち約9割が森林である。気候は内陸性で寒暖の差が激しく、冬の最低気温は約-30℃にもなり、降雪は11月下旬頃から4月中旬頃まで続くという冬が長く夏が短い地域である。</p> <p>森林・林業では持続可能な循環型森林経営を確立するとともに、主伐材から間伐材、中小径木まで無駄なく加工・商品化するゼロエミッションの木材加工システムを有している。</p> <p>また、木くず等を原料とする木質ボイラー導入に北海道で最初に取り組み、役場周辺の複数施設や集住化集落に対する地域熱供給システムの導入など、地域資源背景に沿った木質バイオマスを軸とする再生可能エネルギーの導入を積極的に展開している。</p> <p>こうした取組みにより、環境モデル都市（平成 20 年、内閣総理大臣）や環境未来都市（平成 23 年、内閣総理大臣）、バイオマス産業都市（平成 25 年、農林水産大臣）への選定を受けているところである。</p> <p>また、これらの取組みを積極的に国内外の自治体等へ移出展開するため、常時、町外から有料で視察受入を実施しているとともに、町民向けツアーを随時無料で実施しているところである。</p> <p>(2) 計画の全体像</p> <p>下川町次世代エネルギーパークは、林業・林産業・住宅利用と一体となった木質バイオマスの利活用が網羅的に把握できる視察エリアである。</p> <p>役場周辺の地域熱供給システムを中核施設とし、各公共施設の木質ボイラーや木質原料製造施設（木くず燃料の製造施設）等が希望に応じて視察できる。また、集住化住宅と一体的に整備されている地域熱供給システムの視察においては、再生可能エネルギー施設のみならず住宅部も含めた案内により、深い理解が可能となるよう工夫する。</p> <p>なお、木質バイオマスの利活用について理解しやすい主要な施設をモデル視察コースとして用意し、その中で、宿泊が可能で木質ボイラーを利用している公共温泉宿泊施設や環境共生型モデル住宅（エコハウス）等の案内を含めることで町内宿泊を促進させる。視察受入の窓口及び案内は町内団体が担い、有料で視察受入を実施することで新たな雇用創出等につなげる（既に平成 22 年度 534 名、平成 23 年度 555 名、平成 24</p>

年度 723 名、平成 25 年度 343 名（4～7 月）の受入実績有り。



町内の再生可能エネルギーガイドマップ (赤円はモデル視察コースに含まれる施設)

(3) 関連施設

【計画に含まれる個々の再生可能エネルギー等の施設・設備毎に記載下さい。】

1. 中心となる施設

＜役場周辺地域熱供給システム施設（木質ボイラー、燃料用チップ使用、無圧式温水、定格出力 1,200kW）＞

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成 22 年 3 月

場所：北海道上川郡下川町幸町 63 番地

②見学等に係る取り組み、体制

- ・モデル視察コースに含まれており、申込により随時視察が可能。
- ・視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。
- ・施設内に構造等を示したパネルを展示。

2. 既施設

<五味温泉木質バイオマスエネルギー熱供給施設>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成17年3月

場所：北海道上川郡下川町班溪2893番地

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・木質ボイラー（燃料用チップ使用）
- ・定格出力180kW
- ・発熱分は全て五味温泉（公共温泉宿泊施設）の給湯暖房に通年利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・モデル視察コースに含まれており、申込により随時視察が可能。
- ・視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。
- ・施設内に構造等を示したパネルを展示。

<下川町幼児センター木質バイオマスエネルギー利用施設>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成18年3月

場所：北海道上川郡下川町南町411番地

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・木質ボイラー（燃料用チップ使用）
- ・定格出力100kW
- ・発熱分は全て五味温泉（公共温泉宿泊施設）の暖房に利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・申込により随時視察が可能。
- ・視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

<下川町育苗施設>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成20年12月

場所：北海道上川郡下川町上名寄1181番地

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・木質ボイラー（燃料用チップ使用）
- ・定格出力580kW
- ・発熱分は全て育苗施設（ハウス）の暖房に利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ 申込により随時視察が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

<あけぼの園等森林バイオマスエネルギー熱供給施設>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成22年3月

場所：北海道上川郡下川町西町352番地

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ 木質ボイラー（燃料用チップ使用）
- ・ 定格出力460kW
- ・ 発熱分は全て高齢者複合施設あけぼの園の給湯暖房に通年利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ 申込により随時視察が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

<環境共生型モデル住宅 エコハウス美桑>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成22年3月

場所：北海道上川郡下川町班溪2326-1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ 木質ボイラー（ペレット）
- ・ 定格出力14.9kW
- ・ 発熱分は全てエコハウスの給湯暖房に通年利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ モデル視察コースに含まれており、申込により随時視察が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。
- ・ 施設内に構造等を示したパネルを展示。

<下川型エコ町営住宅>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成23年3月

場所：北海道上川郡下川町共栄町

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ 木質ボイラー（ペレット）
- ・ 定格出力80kW

- ・発熱分は全て町営住宅の給湯暖房に通年利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ 申込により随時視察（外観のみ）が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

<一の橋地域熱供給システム>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成 25 年 5 月

場所：北海道上川郡下川町一の橋 607

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ 木質ボイラー（燃料用チップ使用）
- ・ 定格出力 550kW× 2 基
- ・ 発熱分は集住化住宅や住民センター等周辺施設の給湯暖房に通年利用。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ モデル視察コースに含まれており、申込により随時視察が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。
- ・ 施設内に構造等を示したパネルを展示。
- ・ 集住化住宅部分も併せた案内を実施。

<木質原料製造施設（燃料用チップ製造施設）>

①所有者・管理者：下川町

設置時期：平成 20 年度

場所：北海道上川郡下川町緑町 47 番地 1

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、実績等

- ・ 木質ボイラーの燃料となる燃料用チップを生産する施設。
- ・ 原料保管可能量 2,860t、燃料用チップ製造能力 3.8t/hr
- ・ 製造した木くずは町内外の木質ボイラーへ運搬・販売。

③見学等に係る取り組み、体制

- ・ モデル視察コースに含まれており、申込により随時視察が可能。
- ・ 視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

3. 新施設(予定)

<小学校周辺地域熱供給システム>

①所有者・管理者：下川町

設置予定時期：平成26年3月

場所：北海道上川郡下川町西町

②再生可能エネルギー等の内容及び規模、計画等(予定)

- ・木質ボイラー(燃料用チップ使用)

- ・定格出力 700kW

- ・発熱分は下川小学校及び町立下川病院の給湯暖房に通年利用。

③今回の計画に伴う見学等に係る取り組み、体制

- ・申込により随時視察を可能とする。

- ・視察窓口担当者または役場担当者が説明を行う。

<木質バイオマス発電を含めた地域熱電供給システム>

木質バイオマス発電を含めた地域熱電供給システムについて調査検討中である。

6. 全体スケジュール

既に一定の施設が整っており、視察受入が定常的に実施されていることから、計画が認定され次第、次世代エネルギーパークとしての運用・PRを開始する。

8. 関連する新エネルギービジョン等

- ・新エネルギービジョン(平成 13、14 年度):新エネルギー利用に係る可能性調査と基本的方向性の提示
- ・下川町バイオマスタウン構想(平成 20 年3月):バイオマス利用に係る方向性と具体的事業の提示
- ・下川町環境モデル都市行動計画(平成 21 年3月):町全体の低炭素化に係る方向性と具体的事業の提示
- ・第2期下川町地球温暖化防止実行計画(平成 22 年2月):町内の CO2 削減に係る具体的事業の提示
- ・下川町環境未来都市計画(平成 24 年5月):低炭素化、高齢化対応、経済活性を実現するための方向性と具体的事業の提示
- ・バイオマス産業都市構想(平成 25 年6月):バイオマス利活用による産業創出に向けた方向性と具体的事業の提示

○添付資料

1. 計画図:環境未来都市下川町ガイドマップ
2. その他参考資料:下川町概要(日本語)